

## 「実践!! 富裕層マーケット開拓とその囲い込み方法とは!」第1弾

### 1. 日本の富裕層人口の現状と成長の魅力

2012年現在、日本の富裕層人口=「100万ドル以上の投資可能資産（自宅、耐久消費財、美術品などコレクションを含まない）を保有する人」は、アジア全体の337万人の中で最も割合が高く、対昨年比で4.8%プラスの182万人となりました。

また、世界に約1,100万人、アジア全体では約337万人の富裕層が存在する中で、私たち日本の富裕層人口はアメリカの306万人に次いで世界で2番目に多いです。また、「対総人口比」にすると、日本はアメリカの1.4倍も富裕層が多い世界一の「富裕層大国」であります

#### (1) 現状

こういう人たちには日本では十分なサービスが出来ていない部分がありました。顧客は全国に散在しており、取り組み方により、収益性や成長性で相当期待できる有望な市場と言えます。

現在個人の約1500兆円の金融資産の熾烈な獲得競争が、繰り広げられています。この方々は私たちが提案しますと決断が早いし、お客様をご紹介いただける機会も多いです。

#### (2) 富裕層セグメント

- ・オーナー経営者（企業オーナー・個人事業主などのフローリッチ者など）
- ・自由業（医師、弁護士、会計士、不動産鑑定士などのプロフェッショナルリッチ者など）
- ・土地持ち地主（ビル・マンション・経営者などのストックリッチ者など）
- ・会社役員・定年退職者（共働きの公務員も）・管理職・ITなどの専門職など

### 2. 富裕層の定義

いくら資産があれば富裕層と言われるかについては、明確な定義がある訳ではありません。ただし、富裕層向けの金融サービス業務を行う人（プライベートバンカー等）の間では、概ね自宅の不動産等を除いた投資可能資産が100万ドル以上（または1億円以上）ある人達を富裕層と定義する事が多いです。

こういう方は、証券会社でのラップ口座や信託銀行（銀行）などでの遺言信託を活用しているケースも多いです。

なお、日本は富裕層（1億～5億円の投資可能資産）の対人口比が多いと言われてはいますが、超富裕層（投資可能資産5億円以上）の比率は少ないと言われています。

### 3. 日本の富裕層の特徴

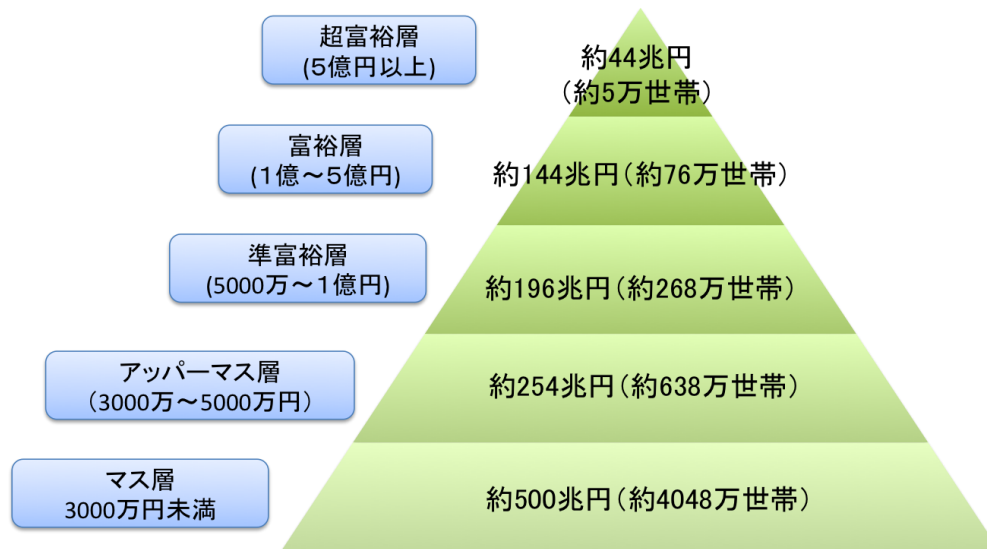
欧米（特に欧州）の富裕層は、代々にわたり資産を築き受継いできた資産家の方々たちがその中核を占めております。

それに対し、日本の富裕層は、第二次世界大戦後の高度成長期にオーナー会社の社長として資産を拡大させた方や、その相続人の方が中核を占めています。そのため、欧米に比べて富裕層の家系の歴史が浅い事が特徴です。

### 4. 近年の富裕層拡大の背景

日本の富裕層の中核はまだ戦後の経済成長期に事業家として資産を拡大させた方とその家族が多いのですが、この方々とは別に 2000 年前後頃から、三大都市を中心に新しいタイプの富裕層（例：IT 起業家など）が生まれてきました。

#### (1) 日本の富裕層、超富裕層の人数



出典 [野村総合研究所（日本の富裕層・超富裕層は 81 万世帯、その純金融資産総額は 188 兆円）](#)。

※ 日本では富裕層が約 76 万世帯で超富裕層が約 5 万世帯、合わせて約 81 万世帯が、富裕層以上に該当します。

なお、81 万世帯は日本の総世帯数約 5,000 万世帯のうちわずか 2%を満たしません。

また、**富裕層と超富裕層の合計資産約 188 兆円は全体の約 17%にあたります。**

#### (2) 一般的な傾向

富裕層・超富裕層程**その金融資産に占める現金・預金以外の金融商品の割合が高くなります**。2009 年は 2 年前の 2007 年に比較して、富裕層以上の資産・人数ともに減少していますが、2008 年のリーマンショックにより、株式を中心に様々な資産が急激に値下がりました。

### (3) 富裕層の今後について

2013年から2017年にかけて**富裕層の増加が予想されています**。その理由は、新たに資産を築かれる人達が出てくることに加えて、現在高齢な富裕層以上の方（親）からの相続により財産が移転される際に、その拡散が予想されるためです。

### (4) 都道府県別「総資産10億円超のビリオネア人口」のランキング出所（出典 プレジデント社）

主な属性：会社経営者、会社役員、医師で、大半の方が副業で不動産経営をされています。  
この方々からは、相続関連のご相談が多いです。

日本全国で **26,386人**（全人口の0.02%）、**平均年齢が72歳**

・第1位	東京都	7,783人
・第2位	神奈川県	2,227人
・第3位	愛知県	1,852人
・第4位	大阪府	1,774人
・第5位	兵庫県	1,228人
・第6位	埼玉県	1,137人
・第12位	京都府	443人

(5) 一般的な富裕層（**金融資産1億円超**）には、起業家だけではなく、大手企業の会社員・公務員や教員で夫婦共稼ぎの方が多いです。この層の特徴は**顧客からのご質問（例：金融資産の運用、生命保険・医療保険などの見直しや相続対策など）が共通化しているケースが多く、ビジネスとして大変収益性の高いものとする**ことが可能であります。

これからも引き続きメルマガやセミナーでも、詳しくお話をさせていただきます。

### <著者プロフィール>

#### 乾 晴彦

CFP、1級FP技能士、DCアドバイザー、宅建主任者、証券外務員一種資格

昭和31年生まれ。長年にわたり金融機関でコンサルティング業務を担当後、大手証券会社の人材開発室で、FP・生命保険の社内講師を務める。現在は、銀行・保険会社をはじめとする上場企業での社員向け営業研修講師、また、大学や大手資格予備校、FP教育機関でのFP研修講師として活動している。富裕層向けの研修・相談業務には定評があり、全国にファンも多い。

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

#### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488